

Party

Vol.15

発行月：平成27年1月

旭川厚生病院広報誌



目次

1. 巻頭言（新年のご挨拶）…………… 森院長
2. 単径ヘルニアについて …………… 外科 中野副院長
3. 連携医療機関・関係機関のご紹介 …… 木原循環器科内科医院
4. 第6回 総合相談センター便り …………… 総合相談センター
5. 栄養科のお仕事 …………… 栄養科



JA北海道厚生連の理念

JA北海道厚生連は、組合員ならびに地域住民の皆様生命と健康を守り、生きがいのある地域づくりに貢献してまいります。

病院の理念

私たちは、「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。患者さまの権利を尊重し、いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

基本方針

1. 患者中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます。
3. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
4. 職員の教育・研修を推進いたします。
5. 経営基盤の強化を図り、健診事業の充実と医療・保健・福祉活動を通じて地域に貢献いたします。

患者さまの権利

1. 人権は尊重されます。
2. 適切な医療を平等に受けることができます。
3. 治療方法を選択することができます。
4. 十分に納得いく説明をお求めにすることができます。
5. 医療上の個人情報を守られます。
6. 転院、紹介を希望される場合、必要な情報は提供されます。



JA北海道厚生連旭川厚生病院

巻頭言

新年のご挨拶

旭川厚生病院

院長 森 達 也



新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃から旭川厚生病院をご利用いただきまして心よりお礼申し上げます。

私は、柴田好先生の退職に伴い、昨年4月1日付けで院長に就任いたしました。専門は泌尿器科で、平成6年に当院に赴任してから20年間、主任部長として透析と泌尿器疾患の診療に携わってきました。院長としては、まだまだ不慣れな事が多く、頼りないところがあるかもしれませんが、歴代院長が築き上げてきた「地域住民の健康を守り、最も信頼され選ばれる病院をめざす」と言う当院の理念・基本方針に基づいて、皆様が安心し、満足いただける医療を受けられるよう、更なる質の向上に努めて参りますので、よろしく願いいたします。

当院は、道北で最初にがん拠点病院として認定を受けています。これは、以前から健診センターで、がんの早期発見を目的に人間ドックや巡回ドックを実施してきた事を評価されたことだと思っています。がん拠点病院の機能を充実させるため、消化器内視鏡センターの拡張、整備の工事も完了し、従来よりも、安全で効率的に内視鏡検査・治療を受けられるようになりました。また、通院しながら、リラックスした環境で抗癌剤治療が受け

られるように外来化学療法室の造設も行ってきました。最近では、PET-CT、高速マルチスライスCT、カプセル内視鏡など、苦痛の少ない、高精度の検査機器の導入も行ってきました。

更に、不幸にしてがんが進行・再発したため、治療方法の無くなった患者さんの身体的、精神的苦痛を緩和することを目的とした緩和ケア病棟もH24年10月に開設しています。

がん拠点病院以外にも、ハイリスクの母体や新生児の受け入れをはじめ、小児救急拠点病院・総合周産期医療センターとしての機能の向上に努めて参りました。一昨年、「救急医療功労者厚生大臣表彰」も授与されています。

旭川厚生病院は、昭和63年に現在の地に新築移転し、今年で28年が経ちます。建物の老朽化が所々に見られるようになってきましたが、新しい時代の医療に遅れないように、最新の医療設備の導入や改築・改装を行っています。療養環境を改善し、医療機器の充実を図ることは勿論のこと、他施設との連携を今まで以上に強化して、地域住民の健康を守り、地域社会の発展に寄与する病院を目指しております。

本年もよろしく願い申し上げます。

鼠径ヘルニアについて



外科 中野 詩郎

1. 鼠径ヘルニアとは

ヘルニアとは体の組織が正常の位置からはみ出ることをいい、体のいろいろな部分で起こります。鼠径部（そけいぶ）とは太ももの付け根の部分のことで、ここに生ずるヘルニアが鼠径ヘルニアです。小児に多いと思われていますが、実際には成人に多い疾患です。日本では年間約15万人の患者が治療を受けているといわれていますが、はずかしがって受診しない患者もいると推察されています。

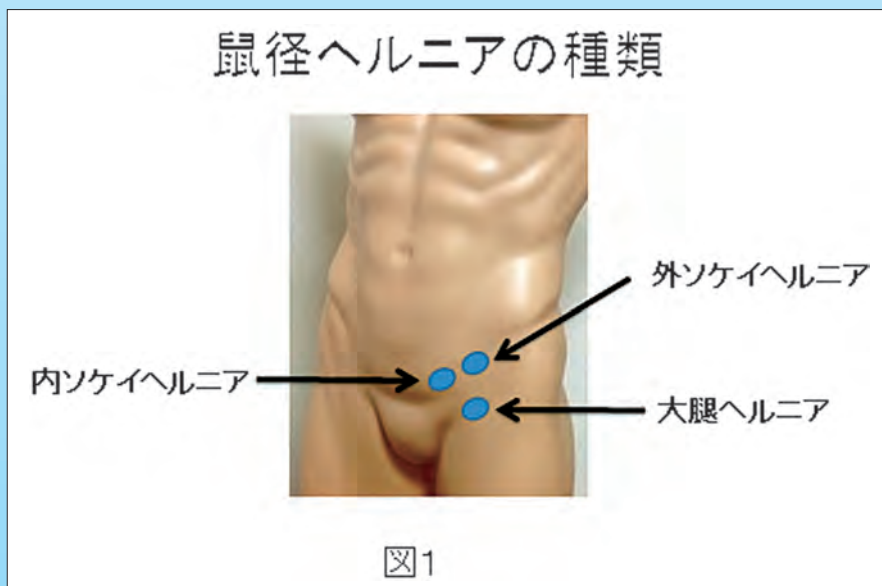
2. 種類

鼠径ヘルニアには脱出する出口（ヘルニア門）の違いから、外鼠径ヘルニア、内鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアの3種類があります

（図1）。小児のほぼすべて、成人の多くは外鼠径ヘルニアです。内鼠径ヘルニアになるのは高齢の方が多く、大腿ヘルニアは中高年以降の多産の女性に多いといわれています。治療法はいずれも手術になります。

3. 症状

症状としては鼠径部が膨らんだり（指先大～ソフトボール大）、痛み・違和感を生じます。脱出物の多くは腸で、脱腸といわれるゆえんですが、脂肪、卵巣・卵管など婦人科の臓器の場合もあります。多くの場合圧迫で元に戻りますが、戻らなくなった場合を陥頓（かんとん）といい、腸閉塞や腸の壊死、腹膜炎の原因となることもあります。特に大腿ヘルニアは要注意です。



4. 原因と治療法

発症する原因は、小児では先天的なものです。成長とともに脱出しなくなることもあります。ごくまれです。全例手術の適応となります。成人の場合は加齢による筋膜、筋肉の衰えが原因で、自然に治癒することはありません。40代以上の男性に多くみられ、腹圧のかかる製造業や立ち仕事に従事する人に発症しやすいといわれています。また、肥満体型、便秘症、前立腺肥大、咳をよくする人、妊婦もなりやすいといわれており注意が必要です。年齢、体力、合併症などにより経過観察が選ばれる場合もありますが、多くの患者さんは治療対象となり、手術が勧められます。

5. 手術

小児や若年者の場合はヘルニア嚢（腹膜の袋）を閉じることで十分とされています。単径部を2～3cm切開して行いますが、女性の場合は腹腔鏡を用いることで創が目立たな

い手術が可能です。

成人の場合はヘルニア嚢の処理だけでは不十分で、衰えて弱くなった筋膜、筋肉の補強が必要です。以前は患者自身の筋膜、筋肉を縫い縮めることで補強していましたが、術後の痛みやツッパリ感が強く、再発率が比較的高いこと（10%前後）も問題でした。現在はメッシュ状の人工の補強材を使い、術後のツッパリ感の少ない、再発率の低い手術が主流です。補強材は数種類あり、患者さんのヘルニアの状態により選択されます(図2)。単径部を6～8cm切開する従来型の手術法と0.5～1cmの穴を下腹部の3か所に開ける腹腔鏡を用いた手術法があります。手術時間は従来法で30分～1時間、腹腔鏡で1～1.5時間です。麻酔は従来法を局所麻酔や腰椎麻酔で行う施設もありますが、当院ではどちらの手術も全身麻酔で行っています。入院期間は小児、成人とも2泊3日となります。当院ではヘルニアの状況や患者さんの希望に合わせ、年間約150人の患者さんを手術しており安定した成績を残しています。



連携医療機関・関係機関のご紹介 第6回

当院の紹介と旭川厚生病院との病診連携

木原循環器科内科医院院長 木原 一

当院の紹介

当院は平成4年12月に4条通22丁目の現在の場所に開院し、今年で22年目になります。循環器の有床診療としてスタートしておりますのでやはり重度の心疾患患者さんが入院するケースが多く冠動脈インターベンションを要する患者さん、ペースメーカー植込みの患者さん、治療抵抗性のうっ血を繰り返す心不全の患者さん、透析を導入する患者さんなど循環器領域のみならず腎臓領域にも渡り、外来患者さんも高血圧、不整脈、冠動脈疾患、弁膜症、慢性腎疾患（外来透析患者さんを含む）など多岐に渡っております。科目の特性上緊急の要素が多く、自ずと忙しい日々が続いている毎日です。

病院連携

循環器疾患の患者さんは高齢の方が多く、循環器の問題だけではなく消化器、呼吸器、血液、皮膚科、整形外科、泌尿器、乳腺、形成外科などさまざまな疾患を合併しているケースも多く、当然厚生病院の各科の先生に御世話になっております。諸先生との電話のやりとりや御手紙の内容で御多忙さ、混雑していることは容易に想像できますが、いつも詳細且つ御丁寧な御返事を頂き感謝しております。私共実地医家にとりまして、自分の専門外の事はなかなか勉強する余裕が無く、御返事の記載されていることにエッセンスが多く含まれておりそれが効率の良い勉強となっております。



す。循環器領域の事は胸部外科へ依頼する疾患以外は、ある程度当院で対応可能な為、循環器科の先生に相談申し上げることは少ないのですが、今年当院では4月にシネアングオの機械を新しいタイプに入れ替えましたが、丸々1ヶ月間を要する大工事でした。得てしてその様な時に急性心筋梗塞の患者さんや緊急でペースメーカーを植込む必要の有る患者さんが多く発症するもので、その際には循環器科加藤副院長先生に依頼申し上げましたが、快く引き受けて頂きました。もちろん患者さんも回復され、御本人、御家族も喜んで報告に来て頂きました。当院四階からは厚生病院の全景が本当に良く見渡せます。「こんなに近くに有るのだ」と何かほっとした気持ちにさせられます。当院の診療が知らず知らずのうちに厚生病院の存在で安心して、そしてスムーズに進んでいることに、今一度感謝申し上げ今後も御指導、御支援を頂いて行きたいと思う日々です。



木原循環器科内科医院

所在地：北海道旭川市4条通22丁目

診療科：循環器科、内科、腎臓内科（人工透析）放射線科

第6回

総合相談センター便り

がん相談支援センター

旭川厚生病院では、患者さんやご家族の不安や心配などの相談に、いつでも対応できるよう総合相談センターを設置し、看護師・認定看護師（緩和ケア・皮膚排泄ケア）・臨床心理士医療ソーシャルワーカーが、それぞれの専門性を発揮して患者さんを支援しています。

当院は地域がん診療拠点病院の指定を受けており、総合相談室には「がん相談支援センター」が設置されています。ここでは専門の相談員が、がん患者さんの相談対応や様々な支援を行っています。今回は、セカンドオピニオンの活用についてご紹介します。

セカンドオピニオンを活用するには……



セカンドオピニオンは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、現在治療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

<一般的には以下の内容について意見を求めます>

- 診断・治療方法
- 治療の効果判断
- 次の段階の治療選択 など

セカンドオピニオンは、担当医を変えたり、転院や他機関の治療を受けるためではありません。

まず、はじめの主治医の意見 (ファーストオピニオン)を大切にしましょう

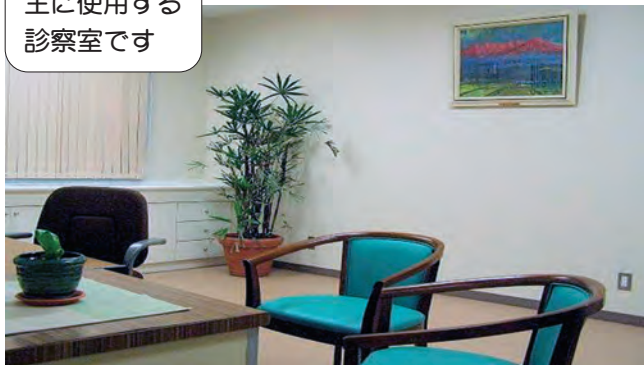
セカンドオピニオンなど、違う医師から意見を求めるにあたっては、最初の医師からのファーストオピニオン（主治医の意見）をよく理解しておく必要があります。

病気の状態やなぜその治療法を勧められたかを理解しないまま、セカンドオピニオンを受けても混乱してしまうこともあります。

セカンドオピニオンを受ける際には、準備や確認しておくことなどがありますので、

お気軽に、当院の「がん相談支援センター」にご相談下さい。

主に使用する
診察室です



JA北海道厚生連 旭川厚生病院 2階フロア

どんなことでも、ご相談ください

総合相談センター
がん相談支援センター

対応時間 (平日) 8:30~17:00

代表電話 0166-33-7171
がん相談 0166-38-2201

旭川厚生病院は、がん診療連携拠点病院です

‘地域の口腔ケア’の実践力を高めよう

～第21回療養生活サポートセミナー～



2014. 10. 16開催

知って得するターミナル期の口腔ケア

講師：口腔看護ステーション のあ
代表 南原 照美 先生

地域の施設で働く看護師・介護職員・ケアマネジャー等、49名の参加がありました。

口腔ケアの講義や粘膜ケアDVD（先生の自作）説明のあとケア用品を使って実際に口腔ケアの一連を実践しました。開催後のアンケートでは、「わかりやすかった」「役立つ内容だった」という感想が多く聞かれました。

テーマは、ターミナル期とありますが病期に関わらず、また高齢者は特に口腔ケアは大切との認識ができました。

更に、効率よくケアをするためのケア用品も紹介されましたが、施設や利用者の経済状況によっては、安価なものでの代替も提案されました。

今後も、地域で療養生活を支えるスタッフの皆さんが役立てられる内容のセミナーを企画したいと思います。是非ご参加下さい。



開口が難しい方の「口の上手な開け方」をレクチャー

看護部退院支援委員会と

退院支援ナース（療養支援ナース）の活動

当院看護部は今年度「退院支援委員会」を立ち上げ、各病棟や外来に支援ナースを配置しました。

患者さんが「どこで、どう暮らしたいか」意思決定から退院支援までの在宅療養移行支援を実践しています。高度医療を提供する中で、患者さんの生活を見据えて支援できることを目指していますが、在宅のイメージを持てるよう、地域の訪問看護ステーションのご協力を得て、同行訪問をさせていただいています。「お家に、帰ろう」を支えるために病棟外来の看護師の役割は何か学ぶことが多いところですが、少しずつ地域のことや在宅サポートを深めています。

地域で療養を支える皆さんと一緒に、地域チーム医療を提供したいと思います。

文責：看護管理副部長 舟橋美智代

栄養科・管理栄養士のお仕事

管理栄養士は、食を通じて人々の健康の維持・増進、疾病の予防、治療に携わっています。病院のお食事は、治療食であるという観点は勿論のこと、安全で患者様に喜ばれる美味しいお食事を提供できるよう心がけております。今回は当院のお食事と、栄養指導や、栄養サポートチーム、緩和ケアチームなどでのチーム医療における管理栄養士としての活動をご紹介します。

常食・全粥食の方の選択献立

これは、選択献立の1例です。デイルームには、1週間献立表を掲示しておりますが、希望されればお召し上がりの献立表を患者さまにお渡ししております。また、病院のレシピの配布もしております。

海老とブロッコリーの中華風旨煮 マカロニグラタン



歯が悪く噛めない方用のソフト食

魚や肉、野菜がムース状になったお料理です。



抗がん剤を受けている方の為のライト食メニュー

抗がん剤を受けている方で、食欲が落ちている時にお勧めのライト食のメニューです。



緩和ケア病棟の方の為のアラカルト食

緩和ケア病棟では、昼食が夕食ではメニューの30



品目から、レストランのように好きな献立を主食1品、おかず・デザートは3品まで選ぶことができるアラカルト食を提供しています。

栄養指導について

入院・外来の様々な疾患に対して個別に栄養指導を行っております。また、糖尿病集団栄養指導、母親教室も行っております。



栄養サポートチーム

医師、看護師、WOC、薬剤師、検査技師、理学療法士、管理栄養士などがチームを組んで患者の栄養管理や栄養療法を実施するチーム医療の一つです。



緩和チーム

緩和ケアチームの一員として、緩和ケアチームのミーティング、回診に参加して、患者の症状等の把握に努め、状態に見合った食事の提供ができるよう活動しています。



旭川厚生病院の健康管理活動

当院では、今の前進である「上川医療圏旭川保健病院」の時代（昭和16年）より、農村の無医地区巡回診療を開始し、現在は、厚生連の組織理念と当院健診センターの基本理念の基づいた健康管理活動を実施しております。

また、医療併設型の健診施設であるという利便性を活かして、JA・健保組合・地元自治体との連携を図りながら、組合員並びに職域、地域住民の健康を守るため、がん検診を含めた総合的な疾病予防の視点に立った対策を積極的に展開しております。

●人間ドック

健診センターで実施しております人間ドックは、1日55名の定員で月・水・金を男性日、火・木を女性日として実施しております。オプション検診についても各種実施しており、早期発見・早期治療をはじめ、生活習慣病予防のお手伝いをさせていただきます。


健診日についてはあらかじめ電話等での予約が必要です。お問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

●巡回ドック（特定健診）

各JA・自治体を胃・胸部併用の検診バスで訪問し、巡回ドック（特定健診）を実施しております。検査項目は人間ドックに準じており、超音波検査以外はほぼ同様の検査項目を受診することが可能です。（一部地域では骨検診も実施）

平成20年度よりメタボリックシンドロームに着目した『特定健診』がスタートし、問診・身体計測・血圧測定・尿検査・血液検査が必須項目となり、医師が必要と認めた場合は、心電図・眼底検査・貧血検査の詳細項目を実施することとなります。



 JA北海道厚生連

旭川厚生病院健診センター

〒078-8211 旭川市1条通24丁目

●ご予約は ☎(0166)33-7171 内線2146/2198

JA北海道厚生連旭川厚生病院 外来診療体制表

受付時間

新患受付 午前の部 8:15~11:30 午後の部 12:45~15:00
 再来受付 午前の部 7:45~11:30 午後の部 12:30~15:00
 (診察時間 午前の部 8:30~ 午後の部 下記参照)

- 各診療科ごとに診療体制が異なります。
- 下記表の●が一般外来として受診可能な時間帯です。(△は予約制の一般外来です)
- 特殊外来は予約制です。下記特殊外来一覧をご参照ください。

お問い合わせ 旭川市1条通24丁目111番地3 TEL (0166)33-7171

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
血液・腫瘍内科	●		●		●		●			
代謝・内分泌内科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
呼吸器科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
消化器科	●	△	●	△	●	△ 特殊外来	●	△	●	△
循環器科	●	△	●	△ 特殊外来	●	△ 特殊外来	●	△ 特殊外来	●	△
神経内科									●	
小児科	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来
外科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△ 特殊外来
乳腺外科						△		△ 第2・4	△	△
呼吸器外科	●		●		●		●		●	
整形外科	●		●		●	△	●		●	
産婦人科(婦人科)	●		●		●		●		●	
産婦人科(産科)	●		●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	
皮膚科	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●		●		●	● 14:00~
形成外科		● 13:00~	●				●			● 13:00~
泌尿器科	●	△	● 尿・子供のみ		●		● 尿・子供のみ		●	△
耳鼻咽喉科	●		●		●		●		●	
眼科	●				●		●		●	
精神科	休診中									
麻酔科	●				●				●	
放射線科	●		●		●		●		●	
緩和ケア科	●	△	●	△	●	△	●	△		

●特殊外来一覧

- 〔消化器科〕
- 肝臓(水) 13:30-16:00 (予約制)
- 〔小児科〕
- 慢性疾患(月・火・金) 13:30-15:30 (予約制)
- 予防接種(月) 13:30-15:00 (予約制)
- 循環器(旭医出張医)(第2・第4水) 13:30-15:30 (予約制)
- 1ヵ月健診(水) 13:00-15:00 (予約制)
- 内分泌(毎月第2・3・4木) 13:30-15:30 (予約制)
- 発達(木) 13:30-15:30 (予約制)
- 神経(月) 13:30-15:30 (予約制)
- (木) 8:30-15:30 (予約制)
- 乳児健診(金) 13:30-15:00
- 乳児健診(佐藤Dr)(毎月第1木) 13:30-15:00
- 〔外科〕
- 乳腺検診(木) 13:30-15:00 (予約制)
- ストーマ(第3金) 13:00-16:00 (予約制)
- ” 【新患可】※
- ストーマケア(金) 13:00-16:00 (予約制)
- 〔乳腺外科〕
- 乳腺外来(第2・第4木) 13:30-16:30 (予約制)
- 〔産婦人科〕
- 産後1ヵ月健診(水) 14:00-16:00 (予約制)
- 〔神経内科〕 紹介患者のみ
- 〔放射線科〕
- (月・火・水・木) 9:00-11:00
- ※【新患可】以外の外来は予め午前外来受診となります。
- ※麻酔科の診察時間は9:30~11:30となります。
- ※血液・腫瘍内科の金曜日午前中は院内紹介患者のみの診察となります。



JA北海道厚生連旭川厚生病院

〒078-8211 旭川市1条通24丁目111番地3
TEL:(0166)33-7171 FAX:(0166)33-6075

●旭川厚生病院ホームページアドレス

<http://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/>



※PCサイトへ接続されるQRコードの為、うまく表示されない場合があります。